

2019年 7月 5日

臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

臨床検査技師が実施する認知症外来の検査について

2. 研究責任者

海南病院臨床検査技術科 左右田 昌彦

3. 研究の概要

物忘れ・認知症外来の診察前検査を臨床検査技師が 2018 年 5 月より開始しました。物忘れ・認知症外来では、認定認知症領域検査技師（専門的に認知症について学んだ臨床検査技師）が簡単な検査と日常生活についてのお話を伺って認知機能の補助診断的な検査を実施しています。医師は日常生活の状況等を付添の方にも確認して診察を行い、各種画像検査（頭部 CT や MRI、超音波検査など）を実施して、総合的に病状を把握し臨床的な診断を行っています。

今回臨床検査技師が物忘れ・認知症外来で実施した検査のうち神経心理学的検査^{※1}において精神状態短時間検査（MMSE 検査）^{※2}のカットオフ値を定めて、医師の臨床診断結果と比較し、技師の実施した問診や老年期うつ病評価尺度^{※3}、各種画像検査結果との解離あるいは妥当性を検討します。そして今後の認知症外来における診察前検査の課題を明らかにすることを目的とします。

※1 神経心理学的検査とは

知能検査の一つで記憶や計算に関する簡単な質問をしながら短時間でできる検査で補助診断の一つの目安になります。

※2 精神状態短時間検査（MMSE 検査）とは

ミニ・メンタルステート検査といい、アメリカで開発された神経心理学的検査で、認知機能の評価方法として国際的に広く使用されています。30 点満点で記憶力や計算力、言語的能力などを調べます。

※3 老年期うつ病評価尺度とは

実施している検査は Geriatric Depression Scal-15（GDS-15）という、うつのスクリーニング検査として世界で最もよく使用されており、妥当性・信頼性とも

非常に高く、15問の短い質問から成り立っている簡便な検査です。

4. 研究方法

①対象となる患者さん

2018年8月より2019年3月までの期間、老年内科の初診外来を受診された患者さん

②使用する試料等

カルテ情報：診察依頼書・物忘れ外来問診票他日常生活動作確認表（家族記載）・
神経心理学的検査結果・老年期うつ病評価尺度・各種画像検査結果・血液検査結果・
医師の臨床診断結果

5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 臨床検査技術科 左右田 昌彦
電話：0567-65-2511（代表）